

第4回県立高校入試改善検討委員会（会議録）

平成23年6月24日（金）14:00~15:30

於：県公会堂21号室

1 開会（高橋高校教育課長）

2 教育長あいさつ（菅野教育長）

高校入試は子供たちの目標の一つであるので、子供たちの努力が正当に評価され、良い結果を生むように、各委員の先生方からご意見をいただきながら、よりよい制度を作り上げていきたい。また、今回の大震災に際しては、みなさまから暖かいご支援をいただき、すべての学校を再開することができた。これからも長いサポートが必要となるので、よろしくお願ひしたい。

教育委員会あいさつ（佐々木教育次長兼学校教育室長）

今回は、「連携型入試」「再募集」「不測の事態の対応」に関して協議。多様化する生徒の現状や高校入試を取り巻く社会の現状、今後予想される社会の変化に対応するため、現行の入試制度の基本理念を尊重しながらも、よりよい方向に改善するという視点から、様々なご提言をいただきたい。

3 委員長あいさつ（望月盛岡大学学長）

前回までの経過を確認し、今回も忌憚のないご意見をいただきたい。次回8月の委員会では、まとめの作業に入りたい。

4 説明・協議（議長：望月委員長）

（1）連携型入試

[上田高校改革課長]

資料説明

質問

[嵯峨委員]

中高一貫教育設置校数（平成22年度403校）のもつ意味とは何か。

[上田高校改革課長]

全国での数字で、平成16年度と比較したものである。中高一貫教育設置校数は全国的に増える傾向にある。

[嵯峨委員]

そうした中で、本県の中高一貫教育設置校数が3校／403校である。この数字をどう受け止めているか。

[上田高校改革課長]

生徒数で見ると全国比で約1%であり、3校が多いか少ないかの評価は難しい。現

在のところで他地域から導入希望は出ていない。

[嵯峨委員]

連携先が普通科高等学校しかないなかで、中高一貫教育の特色にある、生徒の個性や創造性を伸ばすという観点をどう受け止めたらよいか。

[上田高校改革課長]

中学生の興味関心や能力育成を考えると、一般的な連携は、普通科が全国的な流れである。

[嵯峨委員]

中高一貫教育校における学校運営の改善充実を図るため、学校、地域、PTA、教育委員会の代表者による協議会を開催しているが、その範囲や対象を広げてはどうか。

[上田高校改革課長]

地元の意見を取り入れて、代表者を決定し協議会を開催している。今後もさらに意見を伺いたい。

[高橋委員]

同じ地域であっても、連携校の教員が中学校と高校を行き来するのは負担が大きい。教員の加配を考えなければいけないのではないか。

[上田高校改革課長]

県でどこまで出来るか検討しているが、基本的には国が対応。今後とも国に働きかけていきたい。

[坂本委員]

平成24年度入試から学力検査問題を活用するが、合否判定に用いないのであれば、勉強させる効果が期待できないのではないか。

[上田高校改革課長]

今回の見直しは、協議会を通じた地元からの要望である。中高一貫教育の趣旨により、合否判定に用いることはできないが、中学校からは、3年生の一体的な指導が出来ることと評価をいただいている。

意見

[高橋委員]

軽米高校、葛巻高校では、選抜における作題に負担を感じている。学力検査問題を活用するという今回の見直しはいい方向に進んでいる。

[坂本委員]

学習指導要領が変わってきているなかで、所期の趣旨・理念が生きているのか検証が必要である。教育システムのあり方や今後の方向性と切り離して、入試のみの議論は難しい。

(2) 再募集

[里館指導主事]

資料説明

質問

[川村委員]

平成19年度入試から学校裁量で実施出来るようになったが、中学校としては、再募集があるのかないのか見通しが立たない。そのことについての何か情報はないか。

[太田指導主事]

再募集の実施の通知は、一般選抜の合格者数公表のときに行われるが、調整後の倍率や志願者数が発表されているので、ある程度の見通しが立つのではないかと考えている。

[嵯峨委員]

定時制の再募集の状況は非常に厳しい。このことについてどう考えているか。

[太田指導主事]

定時制の再募集は、ご意見を聞きながら検討していきたい。

意見

[在原委員]

本校では再募集を実施したが、相当の労力を必要とする。年度末で慌ただしく多忙な時期であることも考え、実施の有無は学校裁量でお願いしたい。

(3) 不測の事態の対応

[太田指導主事]

資料説明

質問

[谷村委員]

日頃の避難訓練の大切さを痛感しているが、今回の震災では、学校外にいた高校生が多く犠牲になったと聞いている。高校ではどの程度の訓練をしているのか。

[佐々木教育次長兼学校教育室長]

避難訓練は、火災、地震、地区によっては津波を想定し、年2回実施している。今回の入試の際の地震では、各校が適切に対応できたと考えているが、3/11のような状況になったときにも対応できるマニュアルづくりを進めている。

意見

[松尾委員]

今年の入試の際の地震では、適切な対応が取られたと考えている。また、昨年のインフルエンザについての岩手県の対応は非常に早く、救済措置も適切であった。保護者として非常に感謝している。

5 その他

特になし

6 連絡

[高橋高校教育課長]

次回の委員会は8月30日（火）を予定。

7 閉会